事例No.	2725
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	大日向そば活性化組合

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

大日向そば活性化組合

出典

令和２年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

大日向そば活性化組合　　長野県上田市

産業振興　　コミュニティ

概　要

「大日向そば活性化組合」が活動している地域は、山が急峻で平坦な農地が少なく、経営規模の小さな兼業農家がほとんどである。このため、就職で集落を離れていく若者が増え、農業後継者不足が深刻化し、遊休荒廃農地が年々増加していた。このため、蕎麦打ちの風土を継承し、遊休荒廃農地の増加に歯止めをかけたいとの思いから、平成16年「大日向そば活性化組合」を設立し、遊休農地で蕎麦（信濃1号）の栽培を始めた。



【耕起作業】

評価された点

・平成16年から活動しており、小さな集落で、地味だが着実な活動が進められている。
・地域のしきたりを継承しながら、「蕎麦作り」という共通の活動を幅広い世代で作り上げている。一次産業から観光へ繋げるというまち全体の取組を評価。
・補助金に頼らず、新たなイベントにも取り組み、活動範囲やメンバーも増やしつつ、近隣の自治会にも波及効果をもたらしている。



【大日向新そば祭りの状況】



【蕎麦打ち作業】

